

新地区、署名、役員構成などについて3氏が発言

第52回
評議員会



大阪府歯科保険医協会
第52回通常評議員会
2016年5月21日(土) 17時～19時
3氏が発言した
第52回通常評議員
会(5月21日、M&Dホール)

5月21日に開いた第52回通常評議員会では、2015年度の協会活動に関する会務報告について、3人の評議員から発言(文書発言2人、口頭発言1人)があった。3氏の発言と執行部の答弁の要旨をそれぞれ紹介する。

泉州地区の結成を報告

泉州地区の結成を報告
泉佐野市・勝藤大輔評議員

文書発言

泉州地区は4月16日に結成総会を開きました。泉州地区の援助を得て、第一回準備会から10年目に結成に至りました。

結成総会では、①診療報酬改善の講習会の充実②会員の親睦を深める文化活動——などを活

子ども医療で住民署名

子ども医療で住民署名
松原市・谷泰一郎評議員

文書発言

動方針として確認いたしました。当面、講習会の定期開催を軸に、文化行事や府下でも水準が低い子どもの医療費助成制度の拡充などに取り組みながら、地区役員を増やし、活動が継続できるように努めてまいります。理事や他地区の皆さんのご支援と

ご援助をいただきますようお願いいたします。当番・小澤理事長
結成おめでとうございませう。結成に至るまでのご苦労は大抵ではありませんでした。設立にあたってご尽力いただいた先生方へ心からお礼申し上げます。

結成されて今日で1ヵ月と少し。役員、地区の先生方が楽しく活動していただくことが第一です。可能な限りの支援と援助をさせていただきます。会員の先生方、患者さん、住民のみなさんのために地区づくりとともに取り組んでいきたいと思っています。

助成対象年齢が中卒以上は29市町村、18歳まで助成が進んでいる自治体は寝屋川市、豊能町で、7月から田尻町も実施します。しかし、協会の学校歯科治療調査では格差と貧困の中で必要な歯科受診ができていない人々がたくさんいることが明らかになっていきました。年齢枠の拡大、所得制限の撤廃など自治体への働きかけが重要になっていきます。

健康、署名、自治体要請など各地区の奮闘に感謝します。できております。若手の先生方も講習会や協会の催しには多く参加していただいておりますが、役員構成に反映しているかといえは大きなギャップがあるのが事実です。次世代をつくるのが私たちに現執行部の大切な役割です。委員会の設置も含めまして独自追及が必要だと痛感しています。

女性・若手の役員増を

女性・若手の役員増を
堺市・平野権栄評議員

口頭発言

年齢枠引き上げには至っていませんが、①会員の署名協力がかつてなく広がった②公明・共産・未来が代表質問で取り上

府下43市町村のうち、13%と減少傾向にあり、50歳代は約40%でほぼ横ばい状態、60歳代は20%、27%、32%と増加傾向にあります。

また、女性役員数は全役員数の4%で、5〜6人程度です。女性会員は16年度で365人です。組織の継続性や多様な意見を協会活動に反映させるという観点から、若手役員や女性役員を増やすべきだと思っておりますが、いかがでしょうか。

さらには具体的な対策を検討するための委員会を設置してはどうかでしょうか。おこたわす
連載「PPPの良」第3回は紙面編集の都合により休載します。次号に掲載します。

基軸 アベノミクス 恐るべき正体 ⑥

同志社大学大学院教授・浜矩子氏に聞く



「強権的な政治」です。こうした「アベ政治」は「壊れたホットプレート」や「貧富の格差拡大を悪化させました」。

「アベノミクス」に対する経済社会をどうのようイメージされますか。安倍政権が目指しているのは「強い国家」です。その中身は、一握りのグローバル大企業が稼ぐ「強い経済」であり、軍事力に頼った「強い外交」であり、民主主義や立憲主義を踏みにじる

「強権的な政治」です。こうした「アベ政治」は「壊れたホットプレート」や「貧富の格差拡大を悪化させました」。

は日本国憲法です。グローバル競争の下、弱肉強食や淘汰の論理がはびこる今こそ、人間不在のアベノミクスに対抗する道標となるでしょう。

三つの道標 共存の叡智
それはどのような道

「多様性と包摂性の両立」、「正義と平和の抱き合い」、「狼と子羊がともに宿る」。この三つが実現している。それが日本国憲法の世界だと思っております。二つ目と三つ目は旧約聖書の言葉です。一つ目は、相互に異なる人々が受容力を持って抱き合う世界です。包摂性なき多様性の世界の中

二つ目は、国や民族が様々な正義(＝価値観)を主張しながらも、平和的共生を志向し、戦争を外交の手段としない世界です。

三つ目の「狼」と「子羊」は強者と弱者の象徴として受け止めることが出来るでしょう。大企業と零細企業がともに支え合う。このような共生の構図が実現すれば、グローバル時代もよい時代になるでしょう。

アベ政治に対置する憲法

誰かが横並びの論理に従わされる。最悪なもの

「多様性と包摂性の両立」、「正義と平和の抱き合い」、「狼と子羊がともに宿る」。この三つが実現している。それが日本国憲法の世界だと思っております。二つ目と三つ目は旧約聖書の言葉です。一つ目は、相互に異なる人々が受容力を持って抱き合う世界です。包摂性なき多様性の世界の中

二つ目は、国や民族が様々な正義(＝価値観)を主張しながらも、平和的共生を志向し、戦争を外交の手段としない世界です。

三つ目の「狼」と「子羊」は強者と弱者の象徴として受け止めることが出来るでしょう。大企業と零細企業がともに支え合う。このような共生の構図が実現すれば、グローバル時代もよい時代になるでしょう。

おこたわす
連載「PPPの良」第3回は紙面編集の都合により休載します。次号に掲載します。

新卒・第二新卒DHの採用なら...

ハモナビ 学校求人プラン

こんな歯科医院様へオススメ!!

- 求人票を書くのが大変!
- 医院をもっとアピールしたい!
- 長期間の求人広告を出したい!

Wのアピール!! (リーズナブルに) **長期掲載!!**

- ①60校のDH養成学校へハモナビオリジナル「求人ファイル」設置!
- ②WEB上特設求人コーナー「新卒求人コーナー」開設!

医院の詳しい情報を的確に掲載
医院の雰囲気も伝える事が可能です

和田精密歯研グループ
ヒューマンリソース
ハーモニック

詳しくはお電話か、ホームページをご覧ください

0800-111-4510 FAX.06-6393-3232

ハモナビ 検索 クリック!

http://harmonic-net.co.jp/